

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	235	学校名	仙台市立人來田中学校	校長名	鈴木 裕太
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「環境にやさしい生活をするために、できることからはじめよう」



2 取組の紹介

○節電と節水, エネルギー消費量カット

移動教室等で教室を使用しない時には、消灯を行うことで節電に努めています。また、エアコン使用期間中には、移動教室の時はドアを閉めて、エアコンのガス消費量を抑え、二酸化炭素の排出量を減らすようにしています。さらに、手洗い場に節水の呼び掛けを掲示し、こまめに水道を止めるように促しています。



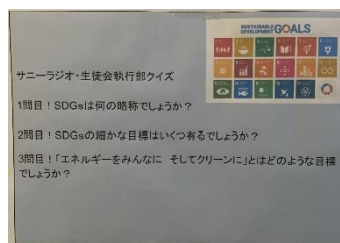
○古紙やゴミの分別と回収

各教室と職員室に、もえるゴミ用のゴミ箱とプラスチック用のゴミ箱を設置しています。色やマークを変えて分かりやすく表示することで、普段からゴミを分別する習慣を身に付けるようにしています。また、古紙回収ボックスを印刷室や職員室に設置し、職員も分別を心掛けています。片面印刷の紙を再利用するなど、リサイクルにも取り組んでいます。



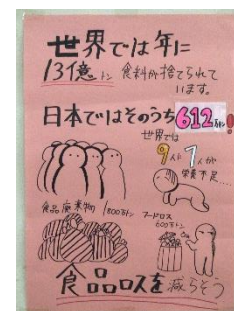
○SDG s を意識するための取組

本校生徒会執行部による取組でSDG sの意識を高めようとクイズを出題し、達成に向けて自分たちに出来る取り組みを考えました。授業の中でも世界の国々における課題について考える機会づくり、自分が住む日本での課題に向き合う意識を高める機会も設けました。環境面の目標に着目しがちだったSDG sに対する意識を、様々な目標に向けさせることができたと思います。



○食品ロスに対する意識を高める

給食委員会を中心に、給食の残食量を減らすために学級での呼び掛けや掲示物の作成を行っています。食料不足による影響が世界にはどのくらいあるのかを伝え、給食の残食を減らしていく呼び掛けを行いました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

日頃から節電や節水に努め、配膳された給食は残さず食べて残食を出さないようにするなど、日常生活の中で環境のことを考えて行動しようとする生徒が増えてきました。また、今年度は各地区で地区清掃を複数回実施することができ、積極的に清掃に参加する生徒も多くなりました。自分たちが住んでいる地域の環境をより良くしようという意欲が感じられました。SDG sに対する意識を高め、世界全体で取り組んでいくことに自分たちも関わっていくのだという意識が高まりました。今後も、地球環境や身の回りの環境についての理解を深め、環境に良い影響を与える行動を学校全体で共有し、環境活動に取り組んでいきたいと思っています。